

6/24-30#1神の永遠のエコノミーの実際の中で生きて、このエコノミーを成就するのは、私たちの霊を活用する習慣を建て上げ、神が賜った私たちの霊を再び燃え立たせることによってであるBird's Eye View神の永遠のエコノミーとは、神の家庭の行政であり、それは彼の選ばれた人の中へとご自身をキリストの中で分与し、神が家を得てご自身を表現することです。この家は召会、キリストのからだです。神の永遠のエコノミーは、神の永遠のご計画であり、神の神聖な分与は、神がご自身のご計画を完成する手段です1テモ1:3 私がマケドニアへ出発する時あなたに勧めたように、あなたはエペソにとどまっています、ある人たちが異なる事を教えたり、4 作り話や果てしのない系図に、心をとめたりすることがないように命じなさい。そのようなものは、信仰の中にある神のエコノミーではなく、むしろ論議を引き起こすだけです。Aキリストは、神のエコノミーの中心、周辺、要素、領域、手段、目標、目的です。事実、神の永遠のエコノミーの内容はすべて、ただキリストです。B私たちが神のエコノミーを認識していないなら、聖書を理解することはないでしょう。聖書の中心的な主題は神のエコノミーであり、聖書全体は神のエコノミーに関するものです。C神のエコノミーは、ご自身を私たちの存在の中へと分与して、私たちの存在が彼の存在をもって構成されることです。この事は、神がご自身を神聖な命として私たちの中へと分与することによってのみ完成されることができます。D新約の務めにおけるリーダーシップは、神の永遠のエコノミーの、制御する、神が賜った啓示のリーダーシップです。E神のエコノミー以外の異なる教えは、私たちの命またすべてである主イエス・キリストの尊いパーソンに対する真の評価、愛、享受から私たちを引き離します。異議を唱える者たちの異なる教えは、信者たちの間にねたみと争いを引き起こしました。この事は、神のエコノミーの教えにとどまるようにという使徒の命令の目的(対象と目標)である愛に反します。F神の神聖な分与は、信者たちを神とならせ、彼らを神格においてではなく、命と性質において神とします。それは、キリストのからだとしての召会を建造するためであり、またキリストの花嫁を用意して、キリストの王国をもたらすためです。この定められた御旨のために、神は人と成って、ご自身を「人化(man-ize)」しました。それから、神はご自身を命として私たちの中へと分与して、私たちを神の神格においてではなく、神の命と性質において「神化(God-ize)」しています。G神のエコノミーにおける神の意図は、彼の神聖な三一(父、子、霊)の中でご自身を彼の選ばれた人の中へと分与することです。時間における神の唯一の目標は、日ごとにご自身を私たちの中へと分与することです。H神の当初の意図の

「青写真」において、人は全宇宙の中心であり、人の中心は人の霊ですゼカ12:1 天を延べ、地の基を据え、人の霊をその中に形づくられたエホバはこう告げられる。創2:7 そして、エホバ・神は土のちりて人を形づくり、その鼻の中に命の息を吹き込まれた。すると人は生きた魂となった。A天は地のためであり、地は人のためであり、人は神によって霊のあるものに創造されました。それは、人が神と接触し、神を受け入れ、神を内容とし、神を礼拝し、神を生き、神のために神の定められた御旨を成就し、神を表現し、神と一になるためです。B神が霊でないなら、そして私たちが神と接触し神と一になる霊を持っていないなら、全宇宙は空虚であり、私たちは無です。C人は墮落のゆえに、人の霊を見落とし、軽視しただけでなく、さらには人に霊があるのを承認することを拒否しました。D人は器として、彼の霊を活用することを通して、キリストにある神を命の木として受け入れるべきでした。それは、命が川として人の最も内なる所に流れ込み、またそこから流れ出て、人を造り変えて尊い材料とならせ、神の建造、神の永遠の表現とならせるためです。1神の息は私たちの人の霊となりました。私たちの霊は神のともし火であって、油としての神を内容とし、私たちに光を与えます。2人の霊は人の墮落を通して、壊れたともし火となりました。しかし神の救いにおける神の回復を通して、人の霊は、命を与える七倍に強化された霊をもって、再生され、再建され、強められます。3人の存在の中央政府また最も重要な部分は、人の霊であるべきです。人の霊によって支配され統治されている人が、霊の人です。1コリ2:15 しかし霊の人は、すべての事柄を識別しますが、彼自身はだれにも識別されません。E神聖な霊が私たちの人の霊の中に住んでいること、二つの霊が共にミングリングされて一つ霊、ミングリングされた霊になっていることは、神のエコノミーの戦略的な中心点です:ローマ8:16 その霊ご自身、私たちの霊と共に、私たちが神の子供たちであることを、証してください。1神のエコノミーを成就する大いなる道は、私たちが霊を活用することによって、霊にしたがって生き、すべてのことを行なうことです。2私たちは霊に戻って霊を活用するときはいつでも、からだに触れます。なぜなら、からだは私たちの霊の中にあるからです。3私たちは霊の中にいるとき、この世に打ち勝ち、罪を犯すことができず、邪悪な者は私たちに触れることができず、私たちは偶像から守られます。III神聖な三一の神聖な分与を受け、この分与の経路となって、聖徒たちが命において成長してキリストを享受するようにさせるためのかぎは、私たちの霊を活用すること、神が賜った私たちの霊を再び燃え立たせることですA敬虔は、神を表現する生活であ

り、神聖なエコノミーのための神聖な分与の結果です。この分与は、私たちの霊を活用して、私たちの日常生活の中でキリストを生き、召会生活の中で神を団体的に現すことにかかっています。1テモ4:7 自分自身を訓練して、敬虔へと至りなさい。8 なぜなら、体の訓練には多少の益はありますが、敬虔はすべての事柄に益があって、現在の命の約束と、来たるべき命の約束を伴っているからです。2テモ1:6 私の按手を通して与えられているあなたの内にある神の賜物を、再び燃え立たせることです。7 というのは、神が私たちに賜わったのは、臆する霊ではなく、力と、愛と、冷静な思いとの霊であるからです。**B**「訓練(活用)して」という言葉は、強いることを暗示します。私たちクリスチャンが強くなることを願い、主の中で成長することを願うなら、自分自身を強いて私たちの霊を用いて、ついには私たちの霊を活用するという強い習慣を建て上げるに至らなければなりません。**C**私たちの霊を活用することは、私たちの霊を再び燃え立たせることです。12テモテ1:6は「神の賜物」について述べており、また7節が示しているのは、神が私たちに賜わったものが、力と、愛と、冷静な思いとの私たちの再生された霊、私たちのミングリングされた霊であるということです。こういうわけで、神の賜物は、神が賜わった私たちの霊です。2 私たち救われた者は、クリスチャン生活と召会生活をする資本を持っています。この資本は、神が賜わった私たちの霊です。3 火は、聖霊が内住している私たちの再生された霊の中にあります。実は、私たちの霊が火です。**D** 私たちは霊を活用するために、私たちの霊を取り巻く魂の各部分、私たちの思い、感情、意志を対処しなければなりません。1 力の霊は、服従させられ復活させられた意志を伴う霊です。愛の霊は、愛としての神で満たされた感情を伴う霊です。冷静な思いの霊は、新しくされた思いを伴う霊です。2 私たちの親愛なる主イエスは、私たちの魂の牧者また監督者です。私たちの魂は、私たちの内なる存在、私たちの真のパーソンです。私たちの主は、私たちの内なる存在の益を顧みることによって、また私たちの真のパーソンの状態を監督することによって、私たちを牧養します。3 霊を活用することは、私たちの魂の各部分と関係があり、神のエコノミーの実際の中で生きるために非常に重要です。ですから、私たちは、「弟子たちの魂を堅固にする」ことによって、主の天の務めにおいて私たちの主と協力する必要があります。使徒14:22 弟子たちの魂を堅固にし、その信仰にとどまるよう彼らに勧め、「私たちが神の王国に入るためには、多くの患難を経なければならぬ」と言った。4 弟子たちの魂を堅固にすることは、彼らを以下のことにおいて堅固にすることです。**1** 彼らの思いにおいて:これは、彼らが主

と主についての事柄を知り、理解するためです。**2** 彼らの感情において:これは、彼らが主を愛し、主の権益に対する心を持つためです。**3** 彼らの意志において:これは、彼らが強くなって、主にとどまり、主を喜ばせる事柄を行なうためです。**E** 私たちの霊を活用すること、神が賜わった私たちの霊を再び燃え立たせることは、いつも喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝して、内住する霊を、キリストの中でいっさいの事柄を行なうことの秘訣として享受することです。**F** 私たちの霊を活用すること、神が賜わった私たちの霊を再び燃え立たせることは、私たちの思いを霊に付けることです。1 私たちは思いを霊に付けるとき、命と平安という内なる感覚、強さ、満足、安息、解放、活発さ、潤い、明るさ、心地良さの感覚を持ちます。2 私たちは思いを肉に付けるとき、死という内なる感覚、弱さ、むなしさ、心配、不安、意気消沈、渴き、暗やみ、苦痛の感覚を持ちます。3 私たちのクリスチャン生活は、正しいか間違っているかの標準にしたがっているのではなく、私たちの霊の中の命と平安という内なる感覚にしたがっています。ローマ8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。**G** 私たちの霊を活用すること、神が賜わった私たちの霊を再び燃え立たせることは、私たちの霊を魂から識別することです。ヘブル4:12 なぜなら、神の言は生きていて効力があり、どんなもろ刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を切り離すまでに刺し通して、心の思考と意図を識別することができるからです。1 私たちは常に警戒して、霊からでなく魂(自己)から出ているものをすべて識別し、拒絶すべきです。2 私たちであるすべて、持っているすべて、行なうすべては、霊の中になければなりません。神が私たちにあって何であるかのすべては、私たちの霊の中にあります。**H** 私たちの霊を活用すること、神が賜わった私たちの霊を再び燃え立たせることは、純粋な心で主を呼び求める人たちと共にキリストを追い求めることによって、正常な召会生活をし、召会の墮落に打ち勝つことです。**I** 私たちの霊を活用すること、神が賜わった私たちの霊を再び燃え立たせることは、神の永遠のエコノミーにおける目標としての神の権益(キリスト、神の王国、神の家)のために、個人的でまた何かを打ち明けのように祈って神に近づくことです。

**CP1** 人は宇宙の中心である。人は人の霊を活用し御言葉を祈り読みして、主と交わり、主に触れ、主を表現しなければ、全宇宙は空虚である

**II** 神の当初の意図の「青写真」において、人は全宇宙の中心であり、人の中心は人の霊ですゼカ12:1 天を延べ、地の基を据え、人の霊をその中に形づくられたエホバはこう告げられる。**A** ~ **E** とその下のアウトラインをすべて読んでください。

もし私たちに霊がなければ、獣のようでしょう。私たちは無意味なものとなります。また、宇宙に神がおられなければ、全宇宙は空虚です。ですから、私たちの意義、また宇宙の意義に対するかぎは、神の存在にあり、また私たちが霊を持っていることにあります。神は霊ですから、私たちは霊の中で神と接触し、神を礼拝しなければなりません。この二つの霊は互いに接触し合うべきであり、一となるべきです。そうすれば、全宇宙は意義深いものとなります。そして私たちの人生には意義があります。...このことによって私たちは、私たちの霊の重要性を見ることができます。...クリスチャンとして、私たちの霊は再生されました。

### 適用:青少年・大学生、新人編

**証** 私は召会生活の中で、救われた時から霊を訓練することを教えられました。時々、召会は私たち学生を連れて、車やバイクで吉野川の中流の人が全くいない所まで行って、河原で30分間、大声で主の御名を呼ぶ訓練をしました。私は最初何をしているのかよく分かりませんでした。皆のまねをして主の御名を大声で呼び続けると、聖霊で満たされました。

また集会の中で、霊を活用して大声で詩歌を歌いました。賛美していると霊の中で主に触れることができ、喜びで満たされました。以下の英語の詩歌は、「人が宇宙の中心である」ことを歌っており、学生の時によく歌い、エンジョイしました。

1. O I'm a man---I'm the meaning of the universe;  
Yes, I'm a man---I'm the meaning of the universe.  
God made me such, I am so much;  
I'm the center and the meaning of the universe.
2. Christ lives in me---He's the meaning of my human life;  
Christ lives in me---He's the meaning of my human life.  
Yes, He's in me. My all to be;  
He's the meaning and reality of my human life.
3. The church is Christ---His expression on the earth today;  
The church is Christ---His expression on the earth today.  
This corporate man Fulfills God's plan,  
That this man may have dominion over all the earth.
4. The local church---It's the new and real family life;  
The local church---It's the new and real family life.  
We have the way To live today---  
Eating, drinking Christ we're built up as the local church.
5. What shall we do? We should go and tell the world of this.  
What shall we do? We should go and tell the world of this.  
Disciple all---This is our call.

Let us go and spread the news abroad to every land.  
学校では、おもに思いを訓練することを学びましたが、召会生活では、霊を訓練することを学びまし

た。最初は、集会の時やブラザーズハウスの朝毎の復興の時の賛美や祈り読みで霊を活用することを学びました。その後、主との個人的な交わりの中で、霊を活用し、主と交わることを学びました。

私は霊を活用して、主と交わる時に、アウトラインにある次の御言葉などを使ってよく祈りました。  
**1テモ4:7** 自分自身を訓練して、敬虔へと至りなさい。  
**8** なぜなら、体の訓練には多少の益はありますが、敬虔はすべての事柄に益があつて、現在の命の約束と、来たるべき命の約束を伴っているからです。  
**2テモ1:6** 私の按手を通して与えられているあなたの内にある神の賜物を、再び燃え立たせることです。  
**7** というのは、神が私たちに賜わったのは、臆する霊ではなく、力と、愛と、冷静な思いとの霊であるからです。主と交わる時に、最初は御名を呼び求めながら、心を主に開き、主に何でも語りながら、御言葉を祈り読みしました。そうしているうちに、徐々に御言葉を使って祈るようになりました。例えば、「主イエスよ、あなたが私に賜った霊は、御言葉によると、力と、愛と、冷静な思いとの霊ですが、ほとんどの場合、私の霊は弱いのです。この乖離をどう理解したらいいでしょうか。おお主よ、私を供給し、導いてください」。このように祈ると内側で、「『私の霊は弱い』という御言葉に反する私の感覚は間違っているのではないか? 私の霊は実は強いのかも知れない。強くないと思うのは間違っているのかも知れない」と感じ、御言葉に戻り祈っているとさらに強められて、「確かに、私の霊は強い霊である」と自分自身に言いました。その後、私はサタンに言いました、「サタンよ、お前は私を長年だまし続けてきた。お前のできることは、嘘をつき、だますだけだ。サタンよ、退け! 私には御言葉を信じる信仰がある」。私はこのように、霊を活用し御言葉を祈り読みして、主と交わることを学びました。

学生の時に霊の訓練を学んだことは、25~30歳まで全時間奉仕をした時や、その後のビジネス・ライフの仕事の時に、大きな助けとなりました。霊を活用して主と交わり、主と共にすべてのことを行うための良い基礎になりました。

**CP2** 霊を活用するため、私たちの霊を取り巻く魂の各部分、思い、感情、意志を対処する

**III** 神聖な三一の神聖な分与を受け、この分与の経路となって、聖徒たちが命において成長してキリストを享受するようにさせるためのかぎは、私たちの霊を活用すること、すなわち、神が賜わった私たちの霊を再び燃え立たせることです

**D** とその下のアウトラインをすべて読んでください。

ときどき私たちはある人を、彼の強い意志によって描写します。実は、私たちは間違った表現

を用いてその人を描写しているのです。彼の意志は強いのではなく、堅く、頑固な意志です...私たちの意志は霊の統治の下にあってはじめて、強力で力強くなることができます。信者は殉教者になるときはいつも、強いのです。彼には強い意志があります。なぜならその時、彼の意志は完全に霊に服従しているからです。私たちの意志は服従させられ、霊に対して従順になるとき、強力で力強くなります。そして私たちは真に力の霊を持ちます!

しかしながら、霊が私たちの意志を服従させ、それを主に対して従順にならせる多くの時、私たちはとても冷たくなります。ですから、私たちは均衡として愛を必要とします。私たちは力の霊を必要とするだけでなく、愛の霊も必要とします。たとえ私たちの意志が従順であっても、もし私たちが愛の霊を持っていないなら、とても容易に他の人に対して冷たくなるでしょう。彼らがとても反逆的であるので、私たちは彼らを批判する者となって、罪定めするかもしれません...私たちは力の霊と愛の霊の均衡を保たなければなりません。私たちの霊は力と愛の両方でなければなりません。

主イエスが地上におられたとき、彼の意志は霊に対して従順であり、彼は御父に従順でした。ですから、彼の霊はとても強かったのです。しかし、それはまた絶えず愛に満ちていました。彼は強い霊だけでなく、愛の霊も持っておられました。彼はとても均衡がとれていました。彼の霊は、邪悪な者であるサタンに対してとても強力で力強かったのです! しかし罪人や病人に対して、彼の霊は愛と同情に満ちていました。真の均衡がありました。

愛は「感情」の事柄です...私たちは感情的になった後、再び均衡がとられる必要があります! 今や私たちは「冷静な思い」の霊を持たなければなりません...愛だけなら私たちを愚かに盲目にし、私たちを暗やみの中へともたらしさえます。ですから、私たちは均衡がとられ、愚かに愛するのではなく、明確に、適切に、冷静に、健全な思いをもって愛します。

#### 適用:ビジネスパーソン、大学院生編

**証1**私は人の話しを聞く時に、習慣的に自分の観念に従って聞いてしまい、人の話を全く理解しない傾向がありました。しかし、毎朝の朝毎の復興と、毎晩兄弟姉妹と一緒にライフスタディを追求することで、仕事の中でも、集会の中でも、家にいても、主の名を呼び求めて霊を活用できるようになりました。自己の中に陥りそうになる時、主の名を呼んで霊に戻り、会社の会議の決定にも従うように訓練しています。また人を愛して、彼の感覚を尊重し、人と接触する時に適切に対応することを学

ぶようになりました。主に感謝します。

**証2**私は、最近パートの仕事を始めました。仕事を始めても、今までと変わらず集会に参加し、福音牧養にあずかり、奉仕することを決めて、それ以外の時間で働けるシフトが自由な職場を探しました。しかし、覚えることも多く、忙しい職場で、とても疲れました。そのような中で奉仕していると、心の中でつぶやきが出て来て、他の人に対する罪定めのがちが起こり、内側が暗くなるのを感じました。その時、すぐに主に罪を告白しました。自分には高ぶりがあり、また、主の中で仕事や奉仕をしていなかったことを照らされました。

**祈り**おお主イエスよ、霊を活用するために、私の霊を取り巻く魂の各部分、思い、感情、意志が対処される必要があります。主イエスは、私の内なる存在の状態を監督することによって、私を牧養してください。牧者である主に開き、主を愛し、主の思いを知り、主にとどまり、私の意志感情は調整され、造り変えられます。

#### **神戸に在る召会交わりと報告事項**

##### **1. 兄弟姉妹の訪問:**

- 6/22-23 何家豪B一家4名(佳穂S弟の訓練同級生)
- 6/29-30 東京全時間訓練生6名+TA 2名
- 7/1-8/30 宋劉劍君S(佳穂Sのお母さん)
- 7/5-8 台北31集会所25名
- 7/13-15 台北61集会所(北投)60名
- 7/16-8/16 周洪斌B、李徳英S
- 7/25-28 彰化郡瑜姉妹と弟さん(在職青年)

##### **2. 6/30(主)について:**

朝の集会は魚崎で合同ブレディング主日集会です。時間は10:00-12:00まで。集会後、ランチブレディングを行います。各地区から多くの兄弟姉妹、新人や友人達が来ることができますように。

##### **3. 朝毎の食物進捗について:**

4月ITEROは、全8メッセージの内、#1,2,5,7の4メッセージを追求します。

##### **4. 姉妹集会:毎週水曜日:**

###### **今後のスケジュール**

- 6/26 三宮・神戸
- 7/3 西宮・夙川

##### **5. 2024年SST(真理のサマースクール):**

8/12(月)-17(土)東京基臨ビルで行われます。現在神戸からは13名の青少年が申し込んでいます。若者たちが時間を聖別して、真理の中に入り込み、仲間たちと共に主をエンジョイすることができるように兄弟姉妹お祈りください。